

● 4月23日

パイナップルを小矢部市に寄贈
小中学校・幼稚園の給食に

台湾フルーツの輸入などを手がけるR&Tグループ(代表細川豊、富山市)が台湾パイナップルを小矢部市に200個贈った。
同グループは子どもたちが海外に関心を持つきっかけにしておくと、2021年から毎年県内自治体に台湾フルーツを届けている。
今年も、小矢部市がホッケーを通じた国際交流で台湾への訪問を予定していることから寄贈先に選んだ。
台湾パイナップルは小矢部市内の保育所、ごとも園、小中学生のおやつや給食で提供された。



台湾パイナップル贈呈式(小矢部市役所にて)

● 5月11日

台湾東部沖地震義援金の目録を贈呈

台湾東部沖地震義援金を謝長廷台北駐日経済文化代表処代表に目録贈呈(5月11日:令和6年度全国日台友好議員連盟総会の場合)

ご協力ありがとうございました
法人:53社 160万円
個人:17名 30万円
合計 190万円



倒壊した花蓮県の高層ビル



(新中日ビルにて)名古屋市長

● 7月12日

富山県日台親善協会定期総会を開催

富山県日台親善協会定期総会が7月12日にホテルグランテラス富山で開催された。ジャーナリスト近藤伸二氏による講演会も実施された。



中川会長によるごあいさつ

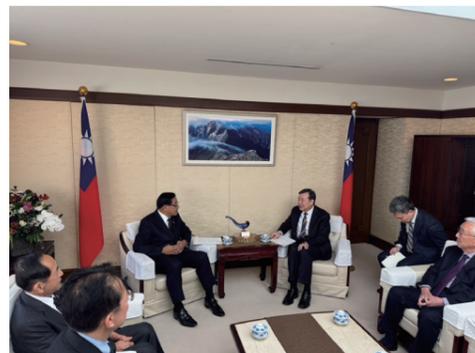


洪英傑台北駐大阪経済文化弁事処長によるごあいさつ

● 12月10日

台北駐日経済文化代表処
代表李逸洋氏表敬訪問に出向

富山県日台親善協会会長他4名が12月10日に台北駐日経済文化代表処に出向き、代表の李逸洋氏を表敬訪問した。



富山県日台親善協会だより

vol.19
2025.1

謹賀新年



新年のあいさつ

台北駐日経済文化代表処 代表 李逸洋

年頭のあいさつ

富山県日台親善協会 会長 中川忠昭

明けましておめでとございます。富山県日台親善協会の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は昨年九月に台湾駐日代表に着任し、大変光栄に思っております。貴協会中川会長をはじめ、メンバーの皆様方の長年にわたる台湾へのご支持に対して感謝申し上げます。貴協会は二〇〇七年の発足以来、台湾と富山県の友好関係を深め、相互理解を促進し、様々な活動を実施しています。お陰様で、台日の文化、教育、経済や観光などの交流が盛んになり、友情や協力関係を築くことができました。

現在、台日関係はこの数十年来最良の時期にあります。過去を振り返ってみると、地震や台風、水害などに直面した際には、台湾と日本は常に苦楽を共にし、積極的に助け合ってきました。このような深い友情は国際社会において非常に貴重であると思います。なかでもコロナ禍の中で日本から四百二十万分のワクチンをいただいたことに、改めて心から感謝申し上げます。

当処が民間の調査会社に委託して行った日本の国民に対する意識調査と日本台湾交流協会が委託して行った台湾の国民に対する意識調査の結果、互いの好感度がどちらも七十七パーセントであることがわかりました。両国民の約八割が互いに相手に対して好感度を抱いているのです。

台日の地方自治体間も非常に深い友情を築いてきました。現在、双方の覚書や姉妹友好都市協定の締結は既に百七十件を超えました。例えば、富山県射水市と台北市士林区は二〇一九年七月に友好協力覚書を締結し、水見市と高雄市鼓山区は二〇二〇年十二月に友好交流協定を結びました。

近年中国は台湾を包囲するような形で軍事演習を実施し、中国の軍機や軍艦、海警局の船舶が台湾周辺に現れない日はありません。もし台湾海峡が封鎖され、半導体供給が中断すれば、世界全体の経済損失は五兆米ドルに上ると予想されます。台湾海峡の平和は、台湾の発展のみならず、世界経済の繁栄に直結しているのです。今後台湾は日本や米国内などの民主国家と協力し、頼清徳総統が掲げる『民主主義の保護の傘』を共に広げ、台湾海峡と地域の平和を守っていきます。

頼総統は台日関係の発展を非常に重視しており、私は総統からこの大任を引き受け、責任の重さを深く感じ、常に身の引き締まる思いです。今後とも富山県日台親善協会の皆様のご支持をよろしくお願い申し上げます。

結びになります。今年も皆様に幸多き一年となりますよう心よりお祈りいたします。

会員の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より当協会発展のためにご協力とご支援を賜っており心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年は能登半島地震からのスタート、航空機事故、豪雨災害、政治と金、自民党の大敗、台湾では東部沖地震の発生、頼清徳総統が就任されるも国会ではねじれ現象となっており、両国にとってもまさに大きく揺れ動いた年でありました。さらに、台湾海峡をはさみ台湾と中国をめぐっては我が国の領土領海をも巻き込む形で大変厳しい状況になっています。

これまで、災害があるたびに両国は我がごとのようにお互い助け合ってきました。今後両国は、特に我が国は「台湾有事は日本有事」であることを強く認識し一層絆を深める努力をしなければならぬと考えています。

さて、昨年九月には台北駐日経済文化代表処の代表(大使)に李逸洋氏がご就任されました。帰国されました謝長廷前代表には立山黒部アルペンルート開通式、日台観光サミットinとやま、日台交流サミットinとやま、台湾バナナの交流会、当協会総会など何回もご来県いただき地方・地域同士の交流促進に大きなお力添えをいただき改めて心から感謝申し上げます。益々のご活躍を心から祈り申し上げます。

また、昨年は台湾東部沖地震の際には会員の皆様から多くの義援金(百九十万円)を頂き台湾政府へ届けることができました。改めて感謝申し上げます。さらに、恒例の台湾フェアを開催し、これまでにない多くの来場者で賑わいました。台湾からの本県への観光客も十万人を超えコロナ前の状況に戻ってまいりました。今年も大いに期待したいと思っております。今後、交流が一層活発化するためには、本県からも是非台湾を訪れていただくようお願い致します。そのために富山台北便の再開について、一層努力してまいります。

いずれにしましても、両国の二層の交流促進に貢献できるように会員各位の皆様とともに頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。結びに、会員各位のご健勝とご多幸、さらには本年が素晴らしい年になりますよう心よりお祈り申し上げます。ごあいさついたします。